



3月県議会予算特別委員会質問



農林水産省へ重要要望陳情



がん対策推進条例について知事申入れ



自民党政調会による現地視察



自民党消防議員連盟視察
(東京都善福寺川取水施設)



教育警務常任委員会視察
(熊本大学五高記念館)



消防庁防災司令室にて
地域防災組織について研修



津波被害をうけた航空自衛隊
松島基地(東松島市)



埴野川河川改修の進捗状況
を視察(速星地内)



シンガポールラッフルズ
ジャパニーズセンター先進医療視察



老朽化した県警ヘリコプター
つるぎの視察調査



橋総務大臣政務官を囲んで



宮腰代議士を囲んで



初選、県議1期生と田畑代議士を囲んで



未来をつくる責任

東日本大震災が発災してから早くも2年が経過しました。被災された皆様には、あらためてお見舞いを申し上げます。被災地の復興は、日本の復興の象徴でもあります。一刻も早い復興をとともに誓い、国民の力を合わせて行動してゆこうではありませんか。

さて、本年は明治16年に富山県が誕生してから100年の節目を迎えます。かつては災害が多く、全国的にも貧しい県の一つと言われていましたが、先人のたゆまぬ努力により、今では「安心・安全で住みよい県全国トップクラス」の評価を受けるまでに発展してまいりました。そして今、平成27年春の北陸新幹線の開通、伏木富山港の日本海側の総合拠点港への選定、富山空港の国際線の充実など、陸・海・空の交通インフラの整備が進み、まさに日本海側の中心県として飛躍の時を迎えております。

これからも元氣な富山県と日本をつくるために、政治信条である「未来をつくる責任」をしっかりと胸に刻み、県民の皆様とともに進んでゆく覚悟です。

末筆になりましたが、皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、変わらぬご指導をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

富山県議会議員

藤井裕久 拝



平成25年3月 富山県議会 予算特別委員会質問

問1 地域の防災力向上について

(1) 県内中小企業のBCP(事業継続計画)策定に対し、積極的に支援すべきと考えるが、問う。

商工労働部長 今年度、3事例について、モデルとなる計画を作成した。今後、この事例集を中小企業団体中央会ホームページに掲載し、また商工会議所、商工会等の関係団体の広報誌等にも掲載し、研修会開催への支援をし、BCP策定の啓発普及を図っていく。

(2) 県内中小企業における「事業所防災計画」の策定を推進すべきと考えるが、問う。

知事政策局長 団員数が全国的には減少している中、本県ではほぼ横ばいとなっており、これらの事業も一定の役割を果たしていると考ええる。来年度は、子どもたちに防災活動に触れてもらうため、イベントの開催、消防訓練の見学会等を考えており、今後とも、消防団の活性化と活動しやすい環境づくりに努める。



宮城県東松島市阿部市長から復興状況を伺う

商工労働部長 地域の防災行動力の向上をテーマに出前県庁しごとと談義を実施し、防災意識の高揚に努めてきた。今後とも、商工団体等の関係機関を通じて、普及啓発を行い、県内事業所の防災意識の高揚や行動力の向上に努めていく。

(3) 県ではこれまで「消防団活動活性化事業」や「消防団員確保対策モデル事業」を実施してきたが、その成果と今後の取組みについて問う。

知事政策局長 全国的には減少している中、本県ではほぼ横ばいとなっており、これらの事業も一定の役割を果たしていると考ええる。来年度は、子どもたちに防災活動に触れてもらうため、イベントの開催、消防訓練の見学会等を考えており、今後とも、消防団の活性化と活動しやすい環境づくりに努める。

(4) 消防団の活動拠点である屯所の老朽化が進んでいるが、県としてその改修や整備、機材整備などのハード整備に対し支援すべきと考えるが、問う。

知事政策局長 来年度新たに「緊急防災・減債事業債」の対象となり、県としても設備・備品の整備に対し積極的に支援してきた。今後とも、市町村と連携し、消防団活動の環境整備に取り組んでいく。



富山市婦中地区の防災訓練にて森市長とともに

(5) 本県と近県との広域災害協定について、定期的な会議による意思疎通や、時には広域訓練も必要だと考えるが、問う。

知事 全国知事会等での応援体制の運用に関する協議、石川県や岐阜県との知事同士の会談の実

施、他に事務レベルで中部圏内の各県間で担当課長会議を実施した。本県の県広域消防防災センターでは、石川県・愛知県の消防学校とも連携し合同訓練をしている。今後とも、一層の連携強化に努め、県民の安全・安心に万全を期していく。

問2 通学路の安心・安全の確保について

(1) 昨年4月に京都府亀岡市で発生した事故を受け実施した、通学路の危険箇所点検結果について問う。

教育長 合同点検の結果、対策が必要とされた箇所は513箇所だった。2月15日時点では、対策済みが236箇所、対策を講ずる予定が190箇所、対策の未定が87箇所という状況である。

(2) 発見された危険箇所の改善にどのように取り組むのか、問う。

土木部長 県管理道路の100箇所では、今年度、車両幅を狭めて路肩を広げるための白線の引き直しや、歩行スペースの確保、児童生徒の路肩から転落防護柵など、52箇所対策を実施。残る48箇所は、補正予算により、用地買収を進め、通学路の歩道の設置・拡幅などの整備に重点的に取り組む。



緑豊かな富山平野

警察本部長 横断歩道の設置、押ボタン式信号機の設置、信号周期の変更、交通指導取締りなどがある。平成25年度に実施予定は早期に実施、検討中も早期に結論を得て安全対策を図り、児童生徒の安全対策に万全を期していく。

(3) ドライバーへの交通指導や注意喚起、児童生徒への交通安全指導の徹底が欠かせないと考えるが、問う。

警察本部長 通学時間帯の通学路での制服警察官やパトカーによる警戒活動や交通指導取締りを実施している。児童生徒に対しては、見守り誘導活動に加え、実践的な交通安全教室を実施し、保護者にも、PTAや各種会合を通じ、交通安全教育や広報啓発に努めている。

(4) 通学路の安全確保対策について、警察、道路管理

者など関係機関との連携・相互協力が重要だと考えるが、問う。

教育長 新たに、①各市町村に、具体的な対策を検討する連絡協

問3

再生可能エネルギーと省エネルギーの推進について

(1) エネルギーのベストミックスという観点から、本県の再生可能エネルギーの比率については、何年を目途に何パーセントを目指すのか、問う。

商工労働部長 国のエネルギー基本計画の検討状況を踏まえ、本県の目指す再生可能エネルギーの比率や目標年度を検討していく。



シンガポールにてゼロエネルギービルを視察

(2) 県内における今後のメガソーラーの設置予定とその促進策について問う。

議会を設置、②特に対策が必要な市町村や学校に、通学路安全対策アドバイザーを派遣、③県教育委員会では、市町村の通学路対策の状況を把握し、広域的な対策などを検討していく。

商工労働部長 企業局において、新たに、神通川浄水場の敷地内に建設する。また県では、昨年10月に新たな融資制度を創設し、新年度は融資枠を拡充する。また、技術専門学院に、新たに太陽光パネル等の整備技術者を育成する。今後とも、民間事業者による太陽光発電の導入促進のための環境整備に取り組んでいく。

(3) 木質バイオマス発電の推進について、この事業の内容と今後のスケジュールについて問う。

農林水産部長 発電事業の実施



和歌山県にて木質バイオマス関連施設を視察

主体は、公募で県内の民間事業者を選定し、発電施設本体の建設費には定額助成を行い、後年度に売電収益から県に返納してもらう。発電施設は、県予算の成立後、4月に事業者の公募を行い、平成26年度中の完成を予定している。

問4 自然環境の保護と活用について

(1) イタイイタイ病資料館については、これから発展していくアジア諸国に向けて、公害病の悲惨さと環境保全の大切さをさらに情報発信してゆく必要があると考えるが、問う。

厚生部長 資料館では5ヶ国語対応のホームページで国内外に広く情報発信し、展示室の展示パネルや音声ガイド、展示ガイドブックを5ヶ国語で用意している。また新たにガイダンス映像の英語版と中国語版を製作した。今後は、韓国語やロシア語のガイダンス映像の作成にも取り組み、水俣病など他の公害病資料館と連携し、海外への情報発信に取り組む。

(2) 県内外をはじめとする全国に向け、「富山の水」をPRすべきと考えるが、どのように取り組むのか、問う。

(4) 地中熱ヒートポンプシステムについては、冷暖房等の省エネルギーにつながることから、県として積極的に導入を促進すべきと考えるが、問う。



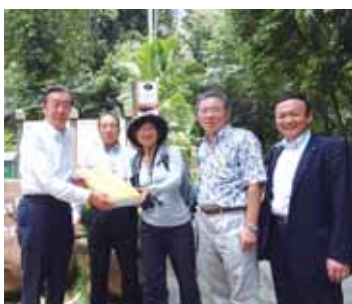
イタイイタイ病資料館を視察するシンガポール中学生

生活環境文化部長 とやまの名水については、県外で開催のイベントへの水の提供、県内で開催の国際会議、全国会議への水の配布、富山駅・富山空港・アンテナショップなどで名水の販売、ホームページでの紹介等でPRを行っている。来年度も県内外で開催のイベント等において水を配布する予定である。

(3) 県では、10年ぶりに「レッドデータブックとやま2012」を取りまとめたが、今後、絶滅危惧種の保護や本県の豊かな生物多様性を維持していくためにどのように取り組んでいくのか、問う。

生活環境文化部長 環境省のガイドラインや手引きを踏まえながら、適切なシステムが設置されるよう、事業所等への情報提供や助言を行い、既存の中小企業環境施設整備資金融資制度等を活用するなど、地中熱ヒートポンプシステムの導入促進に努める。

知事 これまでも立山においてマイカーの乗り入れ規制やライチョウの保護、低公害バス導入等を行ってきた。また、森づくり税を活用した里山林の整備や、野生鳥獣の保護と適正管理などにも取り組んできた。「生物多様性地域戦略」をもとに、環境審議会を経て、地域戦略を策定し、8月にはシンポジウムも開催する。今後とも、生物多様性の保全と持続可能な利用を推進し、県民の貴重な財産である本県の豊かな自然を将来の世代にしっかりと引き継いでいく。



シンガポール・プキティマ自然公園にて生物多様性と自然保護の視察

平成25年度 県予算

「新幹線開業対策」と元気とやまの創造 ～新たな飛躍をめざす14か月予算～

平成25年度の県の予算規模は、約5,451億円(前年度比0.9%減)ですが、2月補正予算と合わせた14か月予算では、前年度比5.4%増の約5,871億円となりました。

特に、経済・産業の振興、雇用対策、子育て、教育、医療、福祉や社会資本整備などの政策経費は前年度比13.6%増(14か月予算)とし、厳しい財政環境の中、積極型の予算としています。

新幹線開業まであと2年弱。この絶好のチャンス、本県の新たな飛躍に向け、官民一体で最大限に活かしましょう。

ポイント1 新幹線開業を活かす元気な富山県づくり

◆北陸新幹線の開業対策 総額 10億4,300万円

○観光振興と誘客・交流の促進

- ・「とやまweek in 東京」の開催、JR各社と連携した旅行商品の造成・PRなど

○産業と地域の活性化

- ・企業誘致強化、大規模展示施設改修改築等の検討

○二次交通の整備・充実、基盤整備等

- ・並行在来線交通ICカードの導入支援、新幹線駅アクセス路線バス等実証運行の支援、県立文化施設の改修など

◆陸・海・空の交通基盤の整備等

○北陸新幹線の整備と関連施策の促進など

- ・新幹線接続新駅設置への支援、並行在来線の経営安定対策など

○2月補正予算と一体となった社会資本整備の推進

- ・能越自動車道、国道8号入善黒部バイパス等の整備など



ポイント2 新総合計画の戦略的事業を重点実施

●「活力」、「未来」、「安心」を柱とした60の基本政策

●基本政策を支える重要政策「人づくり」



●グローバル競走を勝ち抜く環日本海・アジア戦略 ものづくり産業の高度化、海外ビジネスの展開支援など

●少子高齢化・人口減少社会における活力創造戦略 若者や女性、高齢者が活躍できる環境づくりなど

●災害に強い「日本一の安全・安心県」戦略 防災・減災のための体制づくり、災害に強い県土づくりなど

●環日本海地域の「環境・エネルギー先端県」戦略 循環型・低炭素型社会づくりの推進など

●いつまでも、みんな元気「健康先進県」戦略 健康づくりの推進、総合的ながん対策の推進など

5つの重点戦略

富山県議会 1期生の会 国政調査



橋本総務省政務官から通信技術についてレクチャーを受ける



宮腰代議士から北方領土問題についてレクチャーを受ける



総務省地域振興策に関する調査

自民党政調会 福祉環境部会 シンガポール視察



シンガポールエネルギー市場にてエネルギー政策を視察



シンガポール大使館表敬訪問



環境に配慮したゼロエネルギービルの視察

県議会における所属委員会・部会・議員連盟・調査会等

「県議会委員会」

- 農林水産常任委員会 副委員長(新任)
- 予算特別委員会 委員
- 景気・雇用・金融対策特別委員会 委員
- 決算特別委員会 委員

「議員連盟・自民党」

- 日露友好議員連盟
- 自衛隊支援議員連盟
- 県東部地域産業活性化議員協議会
- ボーイスカウト議員連盟
- オイスカ議員連盟
- 商工会議員連盟

「部会・自民党」

- 経済建設部会 副部会長(新任)

「自民党調査会」

- 消防調査会
- 雇用問題調査会
- 医療問題調査会
- 農業問題調査会
- 薬業問題調査会
- 都市問題調査会
- 私学教育調査会
- 並行在来線等問題調査会

「議員連盟・超党派」

- 日中友好議員連盟
- 日韓友好議員連盟
- スポーツ振興議員連盟
- 山村振興議員連盟
- 砂防促進議員連盟
- 観光振興議員連盟
- 日台友好議員連盟
- 南米協会

- 水産問題調査会
- 危機管理防災調査会

藤井裕久後援会事務所

〒939-2741 富山市婦中町中名1606-1
 TEL 076-465-7070 FAX 076-465-7071
 ホームページ <http://hirohisa.nakama.to>

県政に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

お近くにおいでの際はお気軽にお立ち寄りください。

E-mail fujii@hirohisa.nakama.to

